

**[成果情報名] 二期咲きラベンダーの有望系統「長崎 Lav2」**

**[要約]** 二期咲きラベンダー有望系統「長崎 Lav 2」は「リトルマミー」より、加温・長日促成栽培での開花期は早く、わい性であり、促成栽培開花後切り戻すとその後の開花も早く、8月下旬に切り戻すと11月に開花する。

**[キーワード]** ラベンダー、リトルマミー、促成栽培、切り戻し、早生性

**[担当]** 長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

**[連絡先]** (代表) 0957-26-3330

**[区分]** 花き

**[分類]** 普及

**[作成年度]** 2017年度

**[背景・ねらい]**

本県オリジナルの鉢物・苗物として、耐暑性があり、春秋の二期咲き性を有するラベンダー「城南1号」が2009年に商品化され、2014年には「リトルマミー」を商品化している。しかし、「リトルマミー」は「城南1号」より早生性であったが、出荷は前進化しても4月中旬からが限界であり、秋季の出荷も9月までであった。

そこで、「城南1号」、「リトルマミー」より早生性で4月上旬から出荷でき、秋季も10月以降も出荷できる有望系統を選抜し、その開花特性を明らかにする。

**[成果の内容・特徴]**

1. 二期咲きラベンダー有望系統「長崎 Lav 2」は、2013年4月に播種した購入種子の実生から選抜した系統である。
2. ガク(蕾)の色は青紫で、小花の花冠の色は紫(RHSカラーチャート VIOLET GROUP 86-C)であり、「リトルマミー」と同程度である(写真1)。
3. 無加温栽培での開花日は、「リトルマミー」より2日~5日早い(表1)。
4. 加温促成栽培では2月10日加温・長日処理開始により、4月下旬~5月上旬に開花し、「リトルマミー」より9~14日早い(表2)。株高は「リトルマミー」より低い(表2)。
5. 加温促成栽培開花株(2月10日加温開始)を5月30日に花穂下2対葉から切り戻すと開花日は7月24日で「リトルマミー」より16日早い(表3)。
6. 8月25日に開花株を同様に再度切り戻すと、「リトルマミー」は年内に開花しないが、「長崎 Lav 2」は11月に80%の枝で開花する(表4)。

**[成果の活用面・留意点]**

1. 小花の開花始め日を開花日とした。実際の苗物、鉢物としての出荷時期は開花前のガクの着色時期であるため、促成栽培では2月10日加温・長日処理開始で4月上旬からの出荷が可能である。また、8月下旬切り戻しで10月出荷が可能である。(参考 図1)
2. 「長崎 Lav 2」は枝が伸びると倒れやすい傾向があるため、わい化剤を枝伸長初期、及び発蕾時期に散布する。高温期の開花ではガク、小花の色がやや薄くなる。
3. 2018年3月に品種登録申請予定である。

[具体的データ]

表1 無加温栽培における開花特性

| 年度    | 系統・品種  | 平均開花日                 | 開花枝率 |
|-------|--------|-----------------------|------|
|       |        | 月・日                   | ／株   |
| 2015年 | 長崎Lav2 | 5/14±2.8 <sup>z</sup> | 100  |
|       | リトルマミー | 5/19±1.4              | 100  |
| 2017年 | 長崎Lav2 | 5/28±0                | 100  |
|       | リトルマミー | 5/30±0                | 100  |

耕種概要: (2015年) 挿し芽・2014年6月13日、鉢上げ7月11日3号ポット、  
2015年2月11日4号ポット、無加温ハウス内栽培  
(2017年) 挿し芽・2016年8月19日、鉢上げ9月19日3号ポット  
加温2月10日より(13℃)。加温開始時期より夜間電照(同)  
z: ±標準偏差



写真1 左「長崎 Lav2」 右「リトルマミー」  
(2016年4月30日撮影)

表2 加温促成栽培における開花特性

| 年度    | 系統・品種  | 開花日<br>(月・日) | 加温開始                 | 株高<br>(cm) | 開花枝数      | 開花枝率      |
|-------|--------|--------------|----------------------|------------|-----------|-----------|
|       |        |              | から開花ま<br>での日数<br>(日) |            | ／株<br>(本) | ／株<br>(%) |
| 2016年 | 長崎Lav2 | 5/1±1.6      | 80                   | 15         | 12        | 100       |
|       | リトルマミー | 5/10±0.9     | 90                   | 22.4       | 17.4      | 100       |
| 2017年 | 長崎Lav2 | 4/24±1.8     | 74                   | 30.8       | 11        | 100       |
|       | リトルマミー | 5/8±2.2      | 88                   | 42.8       | 11.8      | 81        |

耕種概要: (2016年) 挿し芽・2015年6月3日、鉢上げ7月10日3号ポット、2016年2月10日4号ポット。  
加温2月10日より(13℃)。ワイ化剤3回散布。  
加温開始時より発蕾時まで夜間電照(白熱灯)5時間(22:00~3:00)  
(2017年) 挿し芽・2016年8月19日、鉢上げ9月19日3号ポット  
加温2月10日より(13℃)。加温開始時期より夜間電照(同)  
z: ±標準偏差

表3 加温促成栽培開花後切り戻しにおける開花特性

| 系統・品種  | 平均開花日                 | 株高<br>(cm) | 開花枝数      | 伸長枝数      | 開花枝率      |
|--------|-----------------------|------------|-----------|-----------|-----------|
|        | (月・日)                 |            | ／株<br>(本) | ／株<br>(本) | ／株<br>(%) |
| 長崎Lav2 | 7/24±1.7 <sup>z</sup> | 32.8       | 17.8      | 17.8      | 100.0     |
| リトルマミー | 8/9±2.5               | 38.3       | 8.3       | 22.3      | 37.2      |

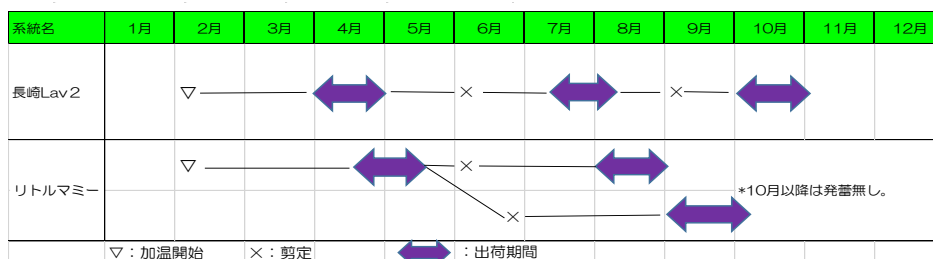
耕種概要: 加温促成栽培による開花後、2017年5月30日切り戻し。  
2017年6月12日4号ポット鉢上げ。  
切り戻し後発蕾時まで夜間電照(白熱灯)5時間(22:00~3:00)  
z: ±標準偏差

表4 7~8月開花後切り戻し後の秋季開花特性

| 系統・品種  | 開花枝数      | 発蕾枝数      | 伸長枝数      | 開花・発蕾       |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
|        | ／株<br>(本) | ／株<br>(本) | ／株<br>(本) | 枝率／株<br>(%) |
| 長崎Lav2 | 19.5      | 2         | 26.8      | 80.2        |
| リトルマミー | 0.5       | 0         | 25.3      | 2.0         |

耕種概要: 2017年5月30日切り戻し、6月12日4号ポット鉢上げ。8月25日切り戻し。  
切り戻し後発蕾時まで夜間電照(白熱灯)5時間(22:00~3:00)

(2017年11月27日調査)



【参考】 図1 「長崎 Lav2」と「リトルマミー」の出荷時期

[その他]

研究課題名: ながさきオリジナル新品種開発推進事業

予算区分: 県単、研究期間: 2015~2017年度

研究担当者: 諸岡淳司、竹邊丞市、岳田 司